

## VIII 県退職共済にかかる主な経理処理

○使用する勘定科目（網かけは医療機構退職共済分・参考として掲載）

処理内容と使用する勘定科目		勘定科目		
		大区分	中区分（は追加設定必要）	小区分（追加設定必要）
BS	掛金を納付し退職給付引当資産に計上	固定資産	退職給付引当資産	
	退職給付費用(掛金額)を退職給付引当金に繰入	固定負債	退職給付引当金	
PL	掛金を県社協退職給付費用に計上	人件費	退職給付費用	県社協退職給付費用
	退職給付金の加算額	その他の収益	雑収益	県社協退職金加算収益
	退職給付金の減算額	その他の費用	雑損失	県社協退職金減額損失
	医療機構退職共済への掛金納付額	人件費	退職給付費用	退職共済掛金
CF	掛金を納付し退職給付引当資産に計上	積立資産支出	退職給付引当資産支出	
	退職給付引当資産の取崩収入	積立資産取崩収入	退職給付引当資産取崩収入	
	退職者への退職給付金の支払額	人件費	退職給付支出	県社協退職給付支出
	掛金累計額より退職給付金の増加額	その他の収入	雑収入	県社協退職金加算収入
	掛金累計額より退職給付金の減少額	その他の支出	雑支出	県社協退職金減額支出
	医療機構退職共済への掛金納付	人件費	退職給付支出	退職共済掛金支出

○県退職共済にかかる主な経理処理・・・（運用指針 20（2）ウ）

県退職共済では、共済契約者が負担する掛金額を退職給付引当資産とし、同額の退職給付引当金を計上します。なお、下記の金額は仮に設定したものです。

### 1 県退職共済掛金納付時の仕訳

貸借対照表 (BS)、事業活動計算書 (PL)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
退職給付引当資産 (BS)	100	現金預金 (BS)	100
県社協退職給付費用 (PL)	100	退職給付引当金(BS)	100

  

資金収支計算書 (CF)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
退職給付引当資産支出 (CF)	100	支払資金 (CF)	100

### 2 被共済職員期間の合算申出のある新たな職員を採用した時の仕訳

貸借対照表 (BS)、事業活動計算書 (PL)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
退職給付引当資産 (BS)	100	退職給付引当金(BS)	100

  

資金収支計算書 (CF)	
支払資金の移動がないので仕訳処理なし	

3 当期に拠点区分間で人事異動を行い、共済残高を移行する仕訳

(1) 転入する拠点区分の仕訳

貸借対照表 (BS)、事業活動計算書 (PL)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
退職給付引当資産 (BS)	100	退職給付引当金 (BS)	100

資金収支計算書 (CF)	
支払資金の移動がないので仕訳処理なし	

(2) 転出する拠点区分の仕訳

貸借対照表 (BS)、事業活動計算書 (PL)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
退職給付引当金 (BS)	100	退職給付引当資産 (BS)	100

資金収支計算書 (CF)	
支払資金の移動がないので仕訳処理なし	

4 被共済職員の退職時の仕訳

(1) 「退職給付金 (150)」の額が「退職給付引当資産 (100)」の額を上回る場合

貸借対照表 (BS)、事業活動計算書 (PL)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金預金 (BS)	100	退職給付引当資産 (BS)	100
現金預金 (BS)	50	雑収益一県社協退職金加算収益 (PL)	50
退職給付引当金 (BS)	100	現金預金 (BS)	100
退職給付費用一県社協退職給付費用 (PL)	50	現金預金 (BS)	50

資金収支計算書 (CF)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
支払資金 (CF)	100	退職給付引当資産取崩収入 (CF)	100
支払資金 (CF)	50	雑収入一県社協退職金加算収入 (CF)	50
退職給付支出一県社協退職給付支出 (CF)	100	支払資金 (CF)	100
退職給付支出一県社協退職給付支出 (CF)	50	支払資金 (CF)	50

(2) 「退職給付金 (100)」の額が「退職給付引当資産 (150)」の額を下回る場合

貸借対照表 (BS)、事業活動計算書 (PL)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金預金 (BS)	150	退職給付引当資産 (BS)	150
雑損失—県社協退職金減額損失 (PL)	50	現金預金 (BS)	50
退職給付引当金 (BS)	100	現金預金 (BS)	100
退職給付引当金 (BS)	50	退職給付費用—県社協退職給付費用 (PL)	50

資金収支計算書 (CF)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
支払資金 (CF)	150	退職給付引当資産取崩収入 (CF)	150
雑支出—県社協退職金減額支出 (CF)	50	支払資金 (CF)	50
退職給付支出—県退職給付支出 (CF)	100	支払資金 (CF)	100

(3) 「退職給付金」が支給されない場合

貸借対照表 (BS)、事業活動計算書 (PL)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
退職給付引当金 (BS)	100	退職給付引当資産 (BS)	100

資金収支計算書 (CF)	
支払資金の移動がないので仕訳処理なし	

(4) 退職者が他法人での「被共済職員期間」の合算を希望する場合

貸借対照表 (BS)、事業活動計算書 (PL)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
退職給付引当金 (BS)	100	退職給付引当資産 (BS)	100

資金収支計算書 (CF)	
支払資金の移動がないので仕訳処理なし	

(注意) 新規採用職員または退職職員の被共済職員期間の合算申出による増減額、および拠点区分間の異動による増減額については、付属明細書 (会計基準第 6 章 2(2)、別表 2) において当期増加額または当期減少額 (その他) の欄に内書きしてください。

【参考】医療機構退職共済制度の経理処理・・・(運用指針 20 (2) イ)

○退職共済掛金の納付時の仕訳 (当該仕訳以外の経理処理は発生しません。)

貸借対照表 (BS)、事業活動計算書 (PL)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
退職共済費用—退職共済掛金 (PL)	100	現金預金 (BS)	100

資金収支計算書 (CF)			
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
退職給付支出—退職共済掛金支出 (CF)	100	支払資金 (CF)	100